

## 平成 29 年度シラバス（課題研究）

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科（科目）	水産（課題研究）	単位数	2 単位	学年（コース）	3 学年（海洋創造コース）
使用教科書	なし				
副教材等	（中央労働災害防止協会 編） 潜水士試験問題集 （中央労働災害防止協会 編） 潜水士テキスト送気調節業務特別教育用テキスト				

### 1 学習目標

海洋や陸上の建設工事・海洋環境・ダイビングに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てます。

### 2 指導の重点

科学的な物の見方、考え方、扱い方を重視し、問題を見だし、それを科学的方法で解決する態度を養うために、

- ① 海洋創造コースでの学習の基礎の上に立った総合的、発展的な課題について調査・研究、実験や作品製作、資格取得などを行います。
- ② 計画、実践、検証という一連の過程を通して、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度の育成を目指します。
- ③ 報告書、発表（プレゼンテーション）資料などの作成を通して、表現力の育成を目指します。

### 3 学習計画

月	単 元 名	教 材	学習活動（指導内容）	時間	評価の方法
4 5 6 7	○探究活動	○2級土木施工管理技術検定試験、第二種電気工事士試験および地域振興に関する研究	○課題の研究を通じ、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を習得する。	2 4	○研究への取組 ○課題達成状況 ○レポート
9 10 11 12	○探求活動報告書作成 ○プレゼンテーション資料の作成	○報告書の作成方法 ○プレゼンテーション	○課題の研究を通じ、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を習得する。 ○報告書の作成方法を理解する。 ○プレゼンテーション資料の作成・発表方法を理解する。	2 4	○研究への取組 ○レポート ○報告資料の内容
1 2	○プレゼンテーション ○研究成果報告・評価	○研究の報告書作成および発表方法 ○自己評価	○プレゼンテーションの手順や方法に習熟する。 ○計画、実践、検証、報告、発表という一連の過程を通じ、自らの学習の成果を評価することを理解する。	1 6	○研究への取組 ○レポート ○プレゼンテーションの内容

計 6 4 時間（5 5 分授業）

### 4 課題・提出物等

○課題研究報告書およびプレゼンテーションの提出、発表

### 5 評価規準と評価方法

評価は次の 4 観点から行います。			
① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 技能	④ 知識・理解
○学習の基礎の上に立った総合的、発展的な課題について調査・研究、実験や作品製作などの継続的な学習を通じ、問題解決の能力及び自発的、創造的な学習態度を習得しようとしている。	○計画、実践、報告、発表という一連の過程を通じ、自らの学習に対して思考し、成果を正しく判断し表現することができる。	○コンピュータを用いた情報処理に関する知識・技術を活用し、創意工夫して、学習の過程や結果および導き出される考え方を、プレゼンテーションソフトを用いてまとめることができる。	○学習や検証作業を通して、自らが見出した課題の基本的な概念や総合的な把握の仕方を習得し、各種海洋工事・調査および自らの社会生活におけるそれらの意義や役割を理解している。
<p>以上の観点を踏まえ</p> <p>○授業への取組（授業態度、出席状況、発表や討議の様子、学習活動への参加状況など）</p> <p>○提出物などの内容および期限の順守      ○研究行動（実験準備および安全への配慮、班別活動の様子など）</p> <p>○実験などにおける技術・技能の到達度      ○研究報告書、発表（プレゼンテーション）資料の完成度</p> <p>○自己評価</p> <p style="text-align: right;">などから、総合的に判断します。</p>			

### 6 担当者からの一言

本科目では、これまでの学習を基礎とした課題を設定し、知識・技術の総合化および深化を図ることで、その課題を解決する能力を育成します。主体的に学び、探究する意識を持って授業に臨むようにしてください。  
(担当者：金子義昂，長武範，渡辺宏幸，橋本拓実)